

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和2年11月19日(木) 15:00 ~ 15:13
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、事務部長、看護部長、
薬剤科長、矢崎外部委員

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名 将棋による統合失調症の認知機能訓練の介入前後比較研究
(申請者 精神科医長 是木 明宏(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 評価尺度は研究で使用しても著作権はいらぬのか。

申請者

- BACS対してはライセンス契約をしており、後はお金を振り込むだけです。

委員

- 色んな項目について、定量データが一般的にノンパラを使って限定するのが一般的だと思うが。

申請者

- それは定量データであってもですか。

委員

- 一般的にパラメトリックを使えば、間隔尺度と比例尺度は体重や温度等だとかはパラメトリックになると思うが。

申請者

- 順序尺度がノンパラというのはわかるが、これは定量データだと認識している。また、定量データで正規分布はパラメトリック研究でいいと思う。

委員

- 将棋なので勝ち負けで、負け続けた場合落ち込んだりしないか。

申請者

- 何回もやるので、負け続けた時はスタッフが相手を勝たせることも考えている。

委員

- 勝ち負けはあまり関係なく、やることに意味があるのでは。

申請者

- その通りです。

委員

- 目標症例数はいくつで考えているのか。

申請者

- 25名で考えている。

委員

- この動物将棋はどれ位時間がかかるのか。

申請者

- 3分位です。

委員

- 将棋盤は購入するのか。

申請者

- 自分たちが持っているものを使用する。

【審査結果】

課題名「将棋による統合失調症の認知機能訓練の介入前後比較研究」

上記に申請について、統計解析は個別に行ってもらい特に問題がなければ承認ということによろしいか。
→承認とする。

以 上